



学校だより はんだましい

西原町立坂田小学校
令和7年3月10日
校長 松川 邦昭
児童数 835名



今年度の教育課程修了

日中の暖かい日差しに春の訪れを感じる日々ですが、保護者・地域の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
子どもたちが、毎朝元気に登校して楽しく学校生活を過ごしている様子を見て心から嬉しく思います。

さて、三月は一年間の総まとめの月です。学習してきたことをきちんと身につけさせるために、どの学年も復習や補習等、まとめに力を入れていくところです。どの子にも充実感・満足感・達成感を味わわせ、一人一人に成長の足跡を実感させて進級できるようにしていきたいと考えています。

また、今月十五日(土)には、朝の奉仕活動やあいさつ運動、様々な学校行事、日々の学習などで、いつも模範となつて頑張つてくれた六年生百三十七名が、本校を巣立っていきます。

この六カ年のあゆみは、友だちと共に学び、切磋琢磨し、励まし合い友情を深め、自信を高め成長してきました。子どもたちのこれまでの成長の大きな活力源は、ご家族であつたと思います。家庭の深い愛情と家族の絆が子どもたちを何度も助け、支え、背中を押してくれた事でしよう。「坂田小学校の顔」そして要となつて成長した六年生は、坂田小学校で学び過ごしたことの誇りを胸に、立派な姿で卒業証書を授与する卒業式になることでしょう。

今年度、子どもたちの健やかな成長を願い、教育目標の実現に向けて様々な取り組みを行つて参りました。保護者の皆様、地域の皆様には、本校教育活動への御理解と多大なご協力を賜り、心より感謝申し上げます。
ありがとうございました。



3年間、大変お世話になりました ありがとうございました。

もうすぐ3月15日の卒業式そして、3月19日の修了式をもって、令和6年度、坂田小学校の教育課程及び教育活動を全て終えることとなります。また、それと同時に、私自身も長かった教職員生活にピリオドを打つこととなりました。振り返つて想うことは、改めて、人として子どもたちを諭し教え、導いていく教師としての仕事を誇りに思うと共に、その職責の重さを感じながらの毎日でした。私にはいつも教育者として大切にしてきた信条があります。それは「子どもたち、保護者、教職員を笑顔にしたい。」という想いです。多くの豊かな笑顔に出逢いたい。その願いを胸に何とかここまで来ることができました。

坂田小学校での3年間は、私にとって大変有意義な時間となりました。子どもたち一人一人が、より良く成長しようと頑張る姿や保護者の皆様の深い愛情を感じながら、私自身も人として成長できた3年間でした。悲しいことも、苦しいこともたくさんありましたが子どもたちの輝く瞳と保護者の皆様に支えられながら、おかげさまで坂田小学校での校長職としての3年間を終えることができます。

これまでの教育活動への多大なるご理解とご協力そして、子どもたちへのご支援を賜りましたこと衷心よりお礼申し上げます。大変ありがとうございました。

これからも陰ながら坂田っ子の健やかな成長と活躍を応援しています。また、保護者の皆様のご健康と坂田小学校の益々のご発展を祈念して最後の挨拶に代えさせていただきます。

大変お世話になりました。

またいつか、お会いしましょう。お元気で。

坂田小学校 第24代校長 松川邦昭



委員会活動引き継ぎ 5年生へバトンパス

本校の特色の一つに6学年児童による各種委員会活動があります。坂田っ子835名が、よりよい学校生活を送るために、6年生を中心に学校内の必要な仕事を分担して、自主的・自発的な活動を行うことがねらいです。これらの取り組みを6年生は、地道に一生懸命取り組んできました。

2月14日「委員会活動引き継ぎ式」が行われ、児童会をはじめとする9の委員会が、6年生から5年生にバトンが引き継がれました。2月17日からは5年生は、6年生から仕事の内容や活動の仕方を直に教えてもらいながら、早速活動を始めています。明るい朝の校内放送で始まる放送委員会、給食の準備・片付けの仕事は給食委員会、図書の貸し出しや書架の整理は図書委員会、体育館の朝清掃や体育朝会、運動会で活躍する体育委員会、保健に関する活動や掲示は保健委員会、落とし物や忘れ物防止は生活委員会、掲示物を整える掲示委員会、毎朝、花の植え付けや灌水は栽培委員会、そして児童会活動の中心となり様々な行事の企画推進する児童会と、もうすぐ最上級生になる5年生が張り切って活動に取り組んでいます。6年生が残してくれた良き伝統が5年生へと引き継がれ、より良い坂田小学校づくりのために頑張っていきます。

「よい子のあゆみ」で、子どもをほめて、 励まし、育てたい。

修了式に担任から子どもたち一人一人に配布される「よいこのあゆみ」には、これまで学んできたことの知識・技能や思考力・判断力、学習意欲等の様子が記載されています。「良かった、悪かった」の視点で見るのではなく、どの教科のどんな学力が力を発揮されたのか。どんな成長があつたのか等、子どもたちが努力した様子を誉めて励ましてあげてください。たくさん誉められた子どもさんは、相手の良さにも気づき、人を認める子どもへ成長していくのではないのでしょうか。

「よいこのあゆみ」を通して、この1年間を振り返りながら、学校生活についてお子さんと会話を交わす機会とし、学習面、行動面の良さを認め励ます機会になるといいですね。